

大躍進！敢闘賞に輝く

〜第26回ふくしま駅伝〜

第26回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月16日、白河市をスタートし福島県庁を目指す16区間95.1kmのコースで開催されました。国見町チームは、総合第33位、町の部では第14

位の成績で、昨年よりも8位総合順位を上げる健闘で敢闘賞を受賞しました。チームの大躍進と敢闘賞の受賞を果たして凱旋した選手たちは、来年の更なる飛躍を誓いました。



町内一周駅伝大会 ～11チームが国見を駆ける～

11月2日、8区間19kmを駆け巡る国見町内一周駅伝競走大会を開催しました。今大会には計11チームが出場し健闘を競いました。レースは1区を首位でリレーした藤田Aチームが激しい競り合いを制し優勝に輝きました。

結果と出場チームは次のとおりです。◆優勝：藤田A（記録1時間7分33秒）、準優勝：森江野、第3位：あつかし◆区間賞：①大槻航（藤田A）②松浦貴昭（森江野）③齋藤巨将（あつかし）④澁谷菜々子（あつかし）、⑤齋藤潤（森江野）、⑥鈴木耀里（藤田A）、⑦鈴木悠（大枝）、⑧高橋篤輝（藤田A）



国見町ソフトボール スポーツ少年団駅伝競走大会 ～19チームが国見に集う～



11月16日、国見町ソフトボールスポーツ少年団主催による駅伝大会が開催されました。29回目を迎える本大会では町内外から19チームが集いました。ソフトボールの練習の合間に駅伝の練習に励んできた選手たちは冷たい秋風に負けない力強い走りを見せ、沿道からの声援に応えました。結果は次のとおりです。

◆優勝：野田、準優勝：誠友、第3位：国見A

◆区間賞：2区高橋敦也（国見A）、3区本田直也（国見A）

古道跡を発見 国史跡 「阿津賀志山防塁」 第15次発掘調査

国見町教育委員会では、国史跡「阿津賀志山防塁」の史跡追加指定を目指した範囲確認調査事業を続けています。

第7年目となる今年度も第15次発掘調査を10月8日から11月21日の期間、森山字東国見地区にて実施しました。11月15日には現地説明会を開催し、県内外から約60人が参加しました。

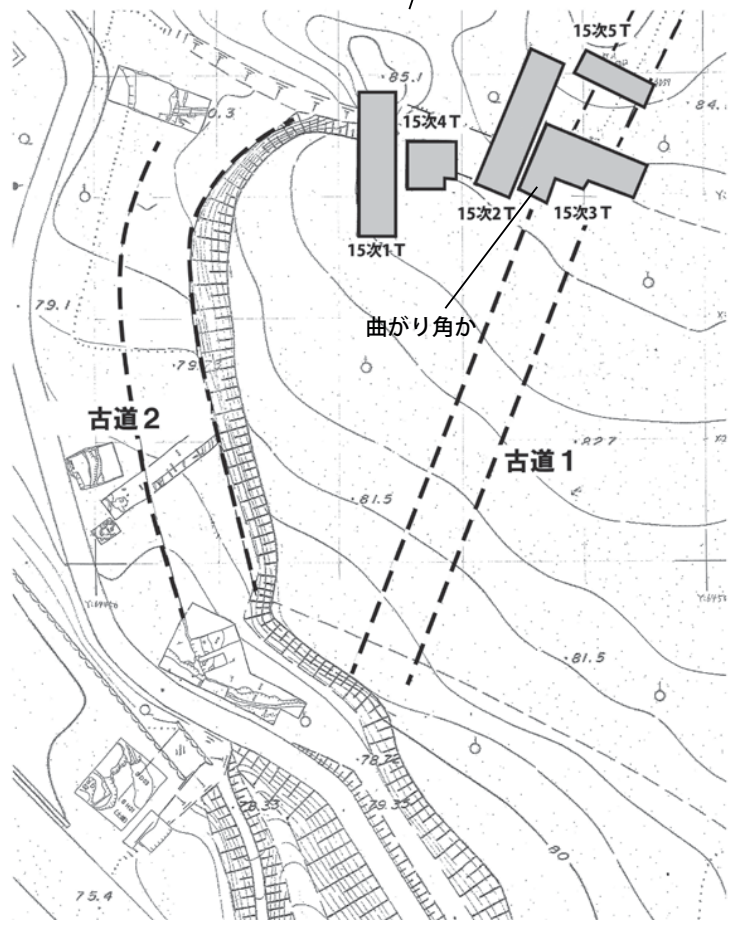
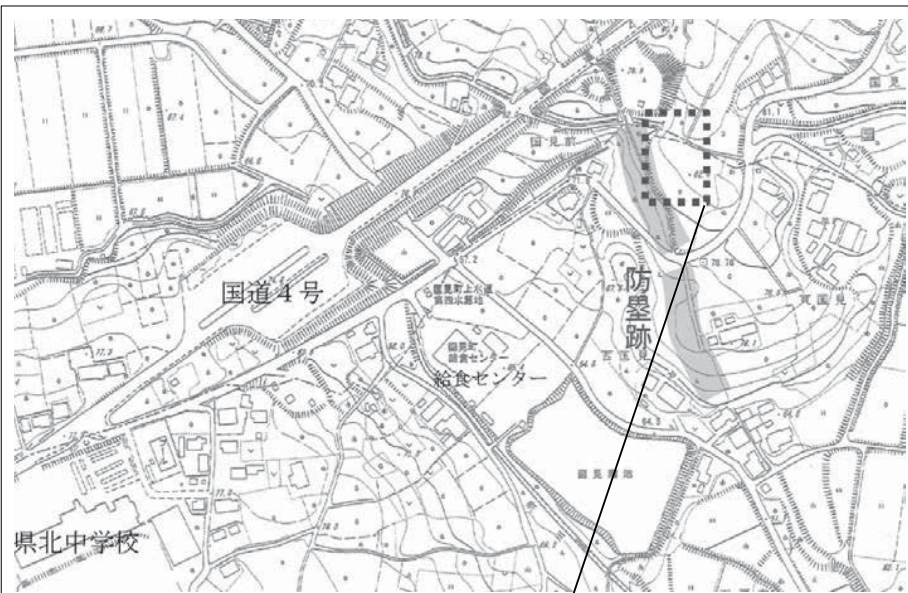
今回の調査では、防塁に

近接する2本の古道跡が見つかりました。

古道1は、幅約3.5mの直線的にのびる道跡で、江戸時代の絵図から奥州道中と推定されます。古道2は、阿津賀志山防塁が築かれた時代の道跡と考えられ、交通の要衝に立地した当時の様相が明らかになりました。

◆問い合わせ 生涯学習課
☎585-2676

阿津賀志山防塁とは？
文治5年（1189）源頼朝率いる鎌倉軍による奥州侵攻は、東北各地で戦闘が展開され「奥州合戦」と呼ばれています。阿津賀志山防塁は、鎌倉軍を迎え撃つため奥州藤原氏が築かせた全長3.2kmの要塞施設であり、この合戦で最大の激戦となった古戦場跡です。



古道が見つかったトレンチ



多くの見学者が集まった現地説明会